

【エクアドル内政・外交：2013年3月】

1. 概要

- 7日 コレア大統領のチャベス・ベネズエラ大統領の葬儀出席
- 22日～27日 列国議会同盟(IPU)会議の開催
- 27日 選挙結果の公式発表

2. 内政

(1) 総選挙

2月17日に実施された総選挙に関し、27日、国家選挙審議会(CNE)は、大統領選挙(開票率100%)及び国会議員選挙の結果を発表した。

(ア) 大統領選挙

各候補者の得票数及び得票率は以下の通り。

コレア・エクアドル大統領	57.17%	(4,918,482票)
ギジェルモ・ラッソ候補	22.68%	(1,951,102票)
ルシオ・グティエレス候補	6.73%	(578,875票)
マウリシオ・ロダス候補	3.90%	(335,532票)
アルバロ・ノボア候補	3.72%	(319,956票)
アルベルト・アコスタ候補	3.26%	(280,539票)
ノルマン・ウェイ候補	1.31%	(112,525票)
ネルソン・サバラ候補	1.23%	(105,592票)

(イ) 国会議員選挙

各政党の獲得議席数は以下の通り。

・全国区(15議席)

国家同盟(Alianza Pais) : 8議席

CREO: 2議席

民主大衆運動党ーパチャクティ党(左派統一): 1議席

キリスト教社会党(PSC): 1議席

愛国社会党(PSP): 1議席

エクアドル・ロルダス党(PRE): 1議席

SUMA: 1議席

・海外区(6議席)は、APが6議席全てを占めた。地方区(116議席)の選挙結果については、グアヤス県、ロス・リオス県における異議申し立てのため、公式発表が遅れているが、APが

2/3以上の議席を獲得するのは確実とみられている。

(2)賃貸法(Ley de Inquilinato)に対する拒否権発動

2月26日に議会で承認された賃貸法に関し、13日、コレア大統領は、保証金等に関する規定が不十分であるとして拒否権を発動した。大統領の支持母体である国家同盟(Alianza País)所属の議員の多くが同法案に賛成していたことから、一部のAP所属議員から不満の声が上がっている。

(3)レオン生産雇用競争力調整大臣の辞意表明

28日、サンティアゴ・レオン生産雇用競争力調整大臣は、辞意を表明した。辞任の理由及び後任等は明らかにされていない。

(4)省庁再編

30日、コレア大統領は、政府機能の最適化の一環として、遺産調整省及び環境省を戦略部門調整省へ、スポーツ文化省を社会開発調整省へ統合する等の省庁再編計画を発表した。

3. 外交

(1)コレア大統領のチャベス・ベネズエラ大統領の葬儀出席

(ア)5日、エクアドル外務省は、チャベス・ベネズエラ大統領の逝去に関し、深い哀悼の意を表す旨のコミュニケを発表した。また、大統領府は、3日間の服喪を発表した。

(イ)7日、コレア大統領は、チャベス・ベネズエラ大統領の葬儀に出席するため、パティーニョ外相とともにベネズエラを訪問した。

(2)米州人権委員会改革

(ア)11日、グアヤキルにおいて、サンホセ協定締約国による米州人権委員会改革にかかる国際会議が開催された。エクアドルは、表現の自由にかかる報告制度だけでなく他の委員会や報告制度にも平等に予算配分をすること、人権委員会の本部を米国のワシントンからサンホセ協定の締約国であるアルゼンチンのブエノスアイレスへ移転すること、協定締約国のみ予算の拠出ができるようにすること等の改革案を提案し、米州機構(OAS)議長に提出した。

(イ)22日、ワシントンで開催されたOAS特別総会において、米州人権委員会改革にかかるエクアドルの提案は支持されなかったが、出席国は、今後も議論を継続する旨合意した。

(3)米国との投資保護協定

12日、コレア大統領は、憲法の規定に抵触するとして米国との投資保護協定を破棄するよう議会に求めた。同大統領の提案を受けて、議会は、委員会審議の日程を調整している。

(4)コリア大統領の新ローマ法王就任式典出席

18日、コリア大統領は、新ローマ法王フランチェスコの就任式典に出席するためバチカンを訪問した。

(5)列国議会同盟(IPU)会議の開催

22日から27日まで、キトにおいて列国議会同盟(IPU)会議が開催された。世界より162カ国の代表団が出席し、日本からは上杉光弘団長(衆議院・自民党)、尾立源幸副団長(参議院・民主党)、津村啓介議員(衆議院・民主党)、伊藤信太郎議員(衆議院・自民党)、小野次郎議員(参議院・みんなの党)、浮島智子議員(衆議院・公明党)、阪口直人議員(衆議院・日本維新の会)が出席した。